

発達障害 Q & A

平成27年2月28日の講演会での質問から

Q2 支援者です。発達障害のある子どもがいて、他の子どもからなぜその子だけ特別扱いかと聞かれます。その子の保護者からは障害があることは伏せて欲しいと希望されています。何かよい伝え方はありますか？

A2 僕だったら「なぜその子だけ…の理由は」事情があつて詳しくは言えないけれど、今はそれが必要なんだよ」と率直に説明したいです。考えるポイントは、(一)『特別扱い』は個別の配慮であつて、対象となる子どもを伸ばすための積極的な方策であることです。単に出来ない課題を免除しているのではないと他の子ども達に伝わるのが理想です。皆と同じ課題に取り組みメリットもありますが、それよりも個別課題が有効であると判断したはずなので、説明は堂々として下さい。あるいは、堂々と説明できるように考え抜かれていなければならないとも言えるでしょう。

事情を知らない他の子ども達にとって、こうした疑問は自然なことでもあるので、(二)障害のあるお子さん自身やその保護者と、予めどのように説明するかを話し合つておくのが理想です。子どもにも分かるように、また月日が経つても説明がぶれないように準備するのは、実は大変な作業です。こうしたプロセスを経ることで、何を重要とするかは自ずと決まってくるでしょう。真摯に取り組むことで、他の子ども達にも分かってもらえるのではと考えました。

(講演会での質疑応答をもとに補足しました。)

回答者

精神科医・医学博士

東京大学学生相談ネットワーク本部准教授

渡辺 慶一郎

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日(祝日及び年末年始を除く)
午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。
相談・療育をご希望される場合は、まず、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」にお電話ください。
TEL 03-5727-2236(相談専用)

〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3階
TEL 03-5727-2235(代表)
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

業務受託：社会福祉法人 嬉泉

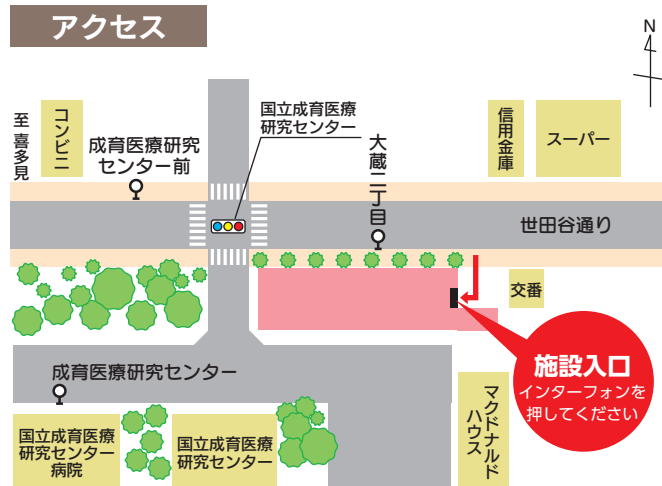
〒156-0055 世田谷区船橋1-30-9
TEL 03-3426-2323 FAX 03-3706-7242
URL <http://www.kisenfukushi.com>

編集後記

このたびの講演会では、合理的配慮について、どうしても必要になるのか、何をしていくことが大事になってくるのか丁寧にお話しいただきました。障害に関わる法律や制度が変わる節目のこの時期に、森下先生の分かりやすく力強い講演は多くの参加者から「前向きな気持ちにさせていただいた」との感想が寄せられています。

支援が途切れないように、周りにいる人たちがセーフパーソンとして何をどうつないでいくか、障害のある方もない方も過ごしやすい社会をどうつくっていくか常に意識していきたいと思えます。

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

※24 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

※01 成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口

※12 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所

※06 成城学園前駅 ↔ 用賀駅

小田急バス

※26 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

東急コーチ

※31-32 二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。東急コーチ、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。